

学内における新型インフルエンザ発生状況について

2009.8.28

県内での合宿に参加した学友会E.S.S.部の学生3名に発熱などの症状が認められ、インフルエンザA型陽性と診断されました。当該学生等は、現在、自宅で療養しており、いずれも軽症であることを確認しています。

本学では、感染拡大防止の観点から8月27日から9月3日まで合宿参加者の自宅待機および体調チェックと適切な対応、部活動の休止措置および感染者との濃厚接触者の外出自粛（接触してから7日程度）を指示しました。

今後、課外活動において競技会、集会等に参加する方々は、感染予防対策に留意するようお願いいたします。